

第 21 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 小林宏寿（帝京大学医学部附属溝口病院外科）
日時 第 95 回大腸癌研究会・2021 年 7 月 1 日（木） 13 時 00 分～14 時 00 分開催
場所 Web

参加者 福田（久留米），佐藤（藤田），中川（女子医），長谷，梶原（防衛），小森（愛知がん），室野（東大），小山（奈良），近谷（埼玉医大医療セ，石田代理），川崎（ベルランド），端山（帝京），岩田，田澤（医科歯科），金光（国がん），志田（東大医科研），小澤（栃木がん），清松（国際医療セ），能浦（市立豊中），西村（聖マリ東横），安井，原口（大阪がん），小野（駒込），河田（京大），問山（三重），須藤（山形県中），幸田（帝京ちば），諸橋（弘前），中山（名古屋），別府（兵庫），固武（佐野市民），小林（帝京溝口）。

順不同・敬称略

議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・前回議事録が承認された。

議題 2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

- ・今後の発表・論文化について

予後情報なし

1) ベルランド（登録数 1 位）：PCI と日本の大腸癌腹膜播種分類ならびに原発巣占拠部位との相関

→Kawasaki M et al. J Anus Rectum Colon4(4);157-164, 2020

2) 国がん（登録数 2 位）：R0 切除を行い得る症例はどのような症例か

→Shida D et al. Int J Clin Oncol 25(2); 330-337, 2020

予後情報あり

3) 事務局:PCI と日本の播種分類との予後分別能(新しい分類と Grading の提示) に関し解析結果を発表

4) 防衛医大（登録数 4 位）：腹膜播種症例の予後規定因子解析と Nomogram による予後予測に関し解析結果を発表

5) 藤田医科（登録数第 5 位）：化学療法と播種症例の予後に関し解析結果を発表

議題 3 腹腔洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

1875 例が集積され，各施設の登録数が確認された。また，2022 年 12 月で予

後追跡が終了し、2023年1月には予後情報の集積を行う旨の周知があった。

予後情報なし

- 1) 藤田医科（登録1位）：腹腔洗浄細胞診陽性に関連する因子の検討
→JARCに accept
- 2) ベルランド（登録3位）：陰性→陽性に転じた症例に相関する因子の検討
→解析結果を発表
- 3) 愛知がんセンター（登録5位）：施設別細胞診陽性率の差に関する検討
→論文投稿中

予後情報あり

- 4) 事務局：細胞診の結果と再発・予後の検討
- 5) 防衛医大（登録4位）：腹膜播種再発の予測モデルに関する解析
(Nomogram もしくは Classification And Regression Tree を用いて)

議題4 腹膜播種の retrospective study (症例集積研究) の集計解析結果について

- ・積極的な利活用を各委員に依頼した。

腹膜播種の前向き研究については、予後情報を加味し各施設で解析を進めていただき、現在予定されている3)～5)以外に論文化の希望があれば検討していくことが確認された。また、論文化の希望が寄せられない場合、登録数が多い施設に順に尋ねていくことも考慮することとなった。

(文責：小林宏寿)